



Skeleton

WZ0031DX

WZ0041DX

RK-DX0001S

取扱説明書

2018年2月発行（初版）


◆ はじめに


この度は、当社製品をお買い上げいただきありがとうございました。


この時計を末永くご愛用いただくため、本取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用くださいますようお願い申し上げます。

◆ 安全上のご注意

ご使用になられる方や他の人への危害及び財産の損害を未然に防ぐため、次の表示で区分されている内容につきましては必ずお守りください。

 危険・・・ この表示の欄は、表示内容と異なった使い方をしたときに、「死亡又は重傷などを負う差し迫った危険が想定される」内容です。

 警告・・・ この表示の欄は、表示内容と異なった使い方をしたときに、「死亡又は重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 注意・・・ この表示の欄は、表示内容と異なった使い方をしたときに、「人的障害又は物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

◆ 製品の特徴

- ① この時計は、手巻き機械時計です。
- ② 時刻表示の他に、パワーリザーブインジケーターが付いています。
- ③ 秒針停止装置が付いています。
- ④ てんぷを衝撃から守る、耐振軸受を使用しています。

◆ 製品仕様

- (1) 機能：時・分・秒針、パワーリザーブ表示
- (2) 振動数：21,600振動 / 1時間
- (3) 精度日差：+25秒 ~ -15秒
- (4) 駆動方式：ぜんまい巻き（手巻き）
- (5) 石数：23石
- (6) 持続時間：50時間以上

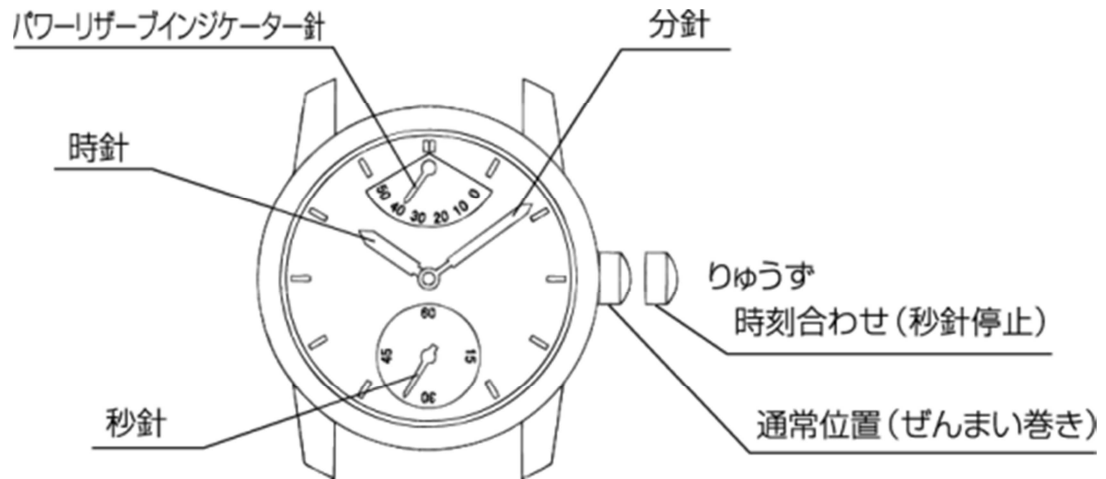
※ 精度日差は室温において、ぜんまいを全巻にし、文字板上で静置した状態で、24時間経過した時の進み・遅れです。

※ 機械時計の特性上、ご使用になる条件（時計の姿勢・ぜんまいの巻き上げ具合等）によっては、精度日差の範囲を超える場合があります。

※ 製品仕様は改良のため予告なく、変更することがあります。

◆ ご使用方法

【 各部の名称とはたらき 】



★モデルにより、りゅうず・小秒針、パワーリザーブ針の位置が異なるものがあります。

【 手巻き機能について 】

- ① この時計は手巻き機械時計です。
- ② りゅうずを回すことでぜんまいを巻き上げることができます。

ぜんまいを巻く際には、りゅうずを通常的位置で右（時計回り）にゆっくり回してください。

なお、りゅうずは左（反時計回り）に回すと空回りするようになっています。

 注意

- ③ ぜんまいがいっぱい巻き上がると、りゅうずが回らなくなります。

それ以上回すと、ぜんまい切れや他の部品が破損する恐れがありますのでご注意ください。

- ④ この時計は、ぜんまいが十分に巻き上げられた状態で50時間動き続けます。

ぜんまいの巻き上げが不足すると、進み遅れの原因になります。

精度を保つためにもぜんまいは、毎日決まった時刻にいっぱい巻いて使用することをおすすめします。

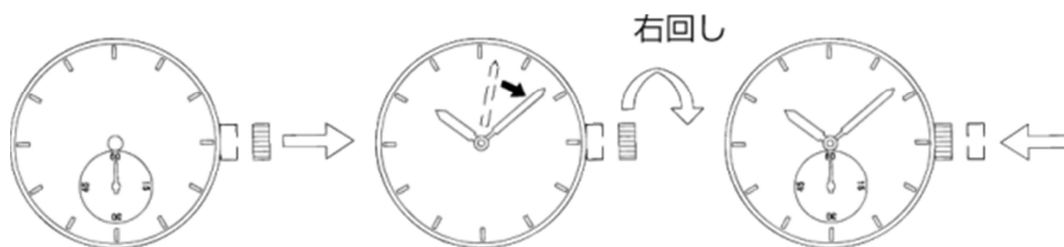
◆ 時刻の合わせ方

① 秒針が60秒の位置にきた時、りゅうずを引き出します。

② りゅうずを右に回し現在の時刻に合わせます。

※ 時刻を合わせる際には、針を一旦正しい時刻よりやや遅らせておき、それから進めて合わせるようにしてください。

③ 時報と同時にりゅうずを押込みます。



◆ パワーリザーブインジケータ―

パワーリザーブインジケータ―とは、ぜんまいの巻き上げ状態を時間で示し、残り駆動時間がひと目で解る機能です。

ぜんまいの巻き上げ残量の表示はパワーリザーブ針によって表示しますので、針の指す時間が巻き上げ残量の時間です。

※ このぜんまいの巻き上げ残量表示はあくまでも目安ですので、表示の時間と実際の残量時間には差がありますので予めご了解ください。

本製品は手巻きの製品にパワーリザーブインジケータ―機能を備えていますので、ぜんまいをいっぱいまで巻いた時、パワーリザーブ針の表示は、全巻（50H）方向に表示しています。

ぜんまいを巻き上げなければ時間の経過とともに、パワーリザーブ針の表示はゼロ方向へと移動します。

パワーリザーブインジケータ―針



◆ 回転ベゼルの使い方

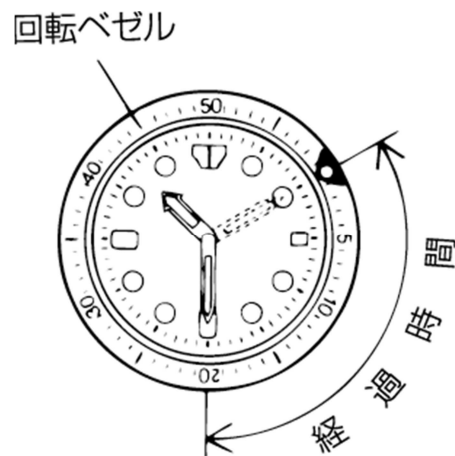
商品によっては、回転ベゼル付きのもでるがありますので、お買い求めの時計をご確認の上、正しくご使用ください。

回転ベゼルの回して、▽マークを分針に合わせてください。

ある時間が経過した後に分針の示す回転ベゼル上の数字を読むことにより、経過時間を知ることができます。

又、目的時刻に合わせておくことにより、残り時間を知ることができます。

回転ベゼルは逆回転防止機構の付いた、ラチェット装置が付いていますので、ショックによる不用意な回転を防止し、また目盛りのセットがしやすくなっています。



上図は、10時10分から20分経過したことを示しています。

◆ お取扱いにあたって

(1) 防水機能について

⚠ 警告

- ① 日常生活防水（3気圧）の時計は、洗顔等には使用できますが、水の中に入れてしまうような環境での使用はできません。

⚠ 警告

- ② 日常生活用強化防水Ⅰ（5気圧）の時計は、水泳などには使用できますが、スキンドайビングを含め全ての潜水には使用できません。


⚠ 警告

- ③ 日常生活用強化防水Ⅱ（10・20気圧）の時計は、スキンドайビング（素潜り）には使用できますが、空気ポンベを使用するスキューバー潜水及びヘリウムガスを使用する飽和潜水などには、使用できません。

タイプ	使用条件	● 水中でのりゅうず操作並びに水滴のついたままでのりゅうず操作	● 一時的にかかる水滴(洗顔・雨など)	● 水泳・水仕事、水道の蛇口など強い水流	● 空気ポンベを使用しないスキンドайビング	● 空気ポンベを使用するスキューバダイビング	● ヘリウムガスを使用する飽和潜水
	表示 (文字板又は裏蓋)						
非防水時計	WATER RESIST(ANT)の表示なし	×	×	×	×	×	×
日常生活用防水時計 (JIS 1種防水時計)	WATER RESIST(ANT)	×	○	×	×	×	×
日常生活用強化防水時計 (JIS 2種防水時計)	WATER RESIST(ANT) 5bar	×	○	○	×	×	×
	WATER RESIST(ANT) 10bar/20bar	×	○	○	○	×	×
空気潜水時計 (JIS 1種潜水時計)	AIR DIVER'S 100m/150m/200m	×	○	○	○	○	×
飽和潜水時計 (JIS 2種潜水時計)	He-GAS DIVER'S 200m/300m/...	×	○	○	○	○	○

WATER RESITANT **bar は、 W.R.**bar と表示している場合があります。

※ 時計の文字板又は裏蓋にある防水性能表示をご確認の上、上記使用範囲にそって正しくご使用ください。

 注意

- ④ りゅうずは常に押し込んだ状態（通常位置）でご使用ください。

りゅうず及びボタンがねじロック式のものであれば、しっかり締め込まれているか確認してください。

時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。

 注意


- ⑤ 水中あるいは水分のついたままりゅうず及びボタン操作をしないでください。

時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。

 注意


- ⑥ 非防水時計については、一時的にかかる水滴（洗顔時の水はね・雨など）や汗にはご注意ください。

万一、水や汗でぬれた場合には乾いた柔らかい布で水分を拭き取ってください。


 注意

- ⑦ 日常生活用防水時計でも、勢いのある水道の水を直接あてるなどのことは避けてください。

防水性能を上回る水圧がかかり防水不良となる場合があります。

 注意

- ⑧ 日常生活用強化防水時計の場合、海水に浸かった後は、ケースについた海水をよく洗い流し、洗った後はよく拭き取りサビなどが出ないようにしてください。

 注意

- ⑨ 皮革バンドは材質の特性上、水にぬれると耐久性に影響がでる場合があります、脱色・接着はがれなどの不具合も起こすことがありますので、特に水の中で使う場合には、あらかじめ他の材質のバンド（金属製又はゴム製）にお取り替えの上、ご使用ください。

! 注意

- ⑩ 時計内部には多少の湿気がありますので、外気が時計内部の温度より低いときにはガラス面がくもる場合があります。

くもりが一時的な場合には内部に支障はありませんが、長時間消えない場合や時計内部に水分が入っている場合には、そのまま放置せず、ご購入店、又はお客様相談室にご相談ください。

(2) ショックについて

- ① ゴルフなどの軽スポーツによる影響はありませんが、激しいスポーツの場合は取り外してください。
- ② 床に落とすなどの激しいショックを与えないでください。




(3) 磁気について

- ① 家庭用電気製品の磁気には心配ありません。

 注意

- ② 磁石、磁気健康器具（肩こり治療器・腕輪など）、電気マージャン台など強い時磁気を発生するものには、近づけないでください。


 注意

- ③ 時計に ANTIMAG. I 又は ANTIMAG. II と表示してある時計は磁気に耐えられる性質を強化してあります。

表示と耐えられる磁界の強さは以下の通りです。

●ANTIMAG. I 4, 800 A/m (60 ガウス)

●ANTIMAG. II 16, 000 A/m (200 ガウス)

 注意

- ④ 強い磁気を発生する所に長時間放置しますと部品が磁化して、故障の原因となることがありますので、ご注意ください。

 注意

- ⑤ 磁気の影響を受けると一時的な進み遅れが生じることがありますが、磁気から遠ざけると元の精度で動きます。

この場合は時刻を修正してください。

⑥ 発生する磁気の強さは表を参考にしてください。

●身の回りの磁気製品・電気製品の磁界の強さ

製品名	磁界の強さ(単位:A/m) 密着状態	判定		磁界の強さ(単位:A/m) 5cm離れた状態	判定	
		ANTIMAG. I	ANTIMAG. II		ANTIMAG. I	ANTIMAG. II
紙止め用磁石 (DC)	23,900~71,600 (300~900ガウス)	×	×	200~1,200 (2.5~15ガウス)	○	○
テレビ (AC・DC)	500~1,200 (6~15ガウス)	○	○	0~400 (0~5ガウス)	○	○
冷蔵庫の開閉部磁石 (DC)	31,800~63,700 (400~800ガウス)	×	×	400~3,200 (5~40ガウス)	○	○
電話機のスピーカー部 (DC)	2,400~3,600 (30~45ガウス)	○	○	300~400 (4~5ガウス)	○	○
電気カミソリ (AC)	6,400~11,900 (80~150ガウス)	×	○	400~800 (4~10ガウス)	○	○
音響製品のスピーカー部 (DC)	600~20,000 (8~250ガウス)	△	△	0~3,200 (0~40ガウス)	○	○
各種家具の開閉部磁石 (DC)	47,800~63,700 (600~800ガウス)	×	×	800~1,200 (10~15ガウス)	○	○
磁気パッド (DC)	47,800~119,400 (600~1,500ガウス)	×	×	0 (0ガウス)	○	○
磁気ネックレス (DC)	63,700~95,500 (800~1,200ガウス)	×	×	40~80 (0.5~1ガウス)	○	○
ハンドバックの開閉部磁石 (DC)	28,700~63,700 (360~800ガウス)	×	×	0~240 (0~3ガウス)	○	○

※ 判定の○は影響無し、×は影響あり、△は製品・機種によって異なります。

※ 上表の数値は目安です。磁界の強さは磁気製品・電気製品の機種により強弱が異なります。

※ 磁界の強さは距離の二乗に反比例しますので、密着状態と少し離れた状態でその数値は大きく異なります。

(4) 振動について

強い振動を加えないでください。

時計の進み遅れの原因となります。

(注：場合によっては、点検調整修理が必要になります。)


(5) 温度について

常温 (5℃~35℃) から外れた環境では、機能が低下したり停止する場合があります。

(6) 化学薬品・ガスなどについて

ガス、水銀、化学薬品など (シンナー・ガソリン・各種溶剤、又はそれらを含むクリーナー・接着剤・塗料・薬品・香水・化粧品類) が触れるとケース、バンド、文字板の変色や樹脂部品では、変色、変形、破損する場合がありますので十分ご注意ください。

(7) 商品及び付属品について


 注意

- ① 商品の分解・改造はしないでください。

 警告


- ② バンドやピン類は乳幼児の手の届かないところに保管してください。
万一、飲み込んだ場合にはただちに医師にご相談ください。

(8) 高温下での使用

 注意

サウナなどの高温下での装着は、火ぶくれ（火傷）になり可能性がありますので、ご使用をお避けください。

◆ かぶれやアレルギーについて

 注意

体質により皮革・金属・軟質及び硬質プラスチック・ウレタンなどにて皮膚がかぶれたり、肌に異常が認められたときは、直ちに使用を中止し、専門医にご相談ください。

◆ ルミナスライトについて

商品によっては、針、文字板などにルミナスライトを使用している物があります。

ルミナスライトは放射性物質を含まない安全な蓄光塗料（光を蓄えて発光する塗料）です。

太陽光や照明光などの光を塗料に蓄えて発行します。

なお、蓄えた光を発光させていますので、照度（明るさ）は、時間の経過とともにだんだん弱まってきます。

また、光を蓄える際、ガラスの形状・蓄光材の厚み・まわりの明るさ・時計との距離・光の吸収度合などの諸条件により、発光の強さや時間には誤差を生じます。

光の蓄え方が弱い場合、発光が弱かったり発行時間が短いことがありますのでご注意ください。

◆ 耐水処理バンドについて

商品によっては、汗や水に触れても吸収しにくい特殊な処理を施した皮革・ナイロンバンドを使用しているものがあります。

このバンドの耐水性は使用期間・使用条件により、効果が劣化しますのでご了承ください。

◆ 銀製品について

商品によってはケース・バンドが銀及び銀メッキのものがあります。

銀の性質として、酸化物・硫化物（空気中や人体老廃物など、身の回りに多く存在します）と反応して表面の色合いが黒く変色します。

このような場合は、銀製品用クロスで拭いてください。元の色合いに戻ります。

◆ 長くご使用いただくために

(1) ケース・バンドのお手入れ



注意

- ① ケース・バンドなどに付着した汚れや水分は時計機能を損なったり、皮膚の弱い方のかぶれや袖口を汚す原因となる場合があります。

柔らかい布などで拭き常に清潔にしてお使いください。

特にバンドは直接肌に接していますので、定期的に汚れを取り除き、ご使用ください。

[ケース]

汚れや水分をそのままにしておきますと、腐食、サビの原因となります。

防水性を下げる原因ともなります。

柔らかい布などで拭き取ってください。

薬品などは変色の原因となりますので、使用しないでください。

[金属バンド]

汚れや水分をそのままにしておきますと腐食・サビの原因となり、バンドの強度、耐久性を下げることとなります。

石鹼水を付けた柔らかい歯ブラシで部分洗いをしてください。

この時、非防水時計は水が時計本体にかからないように注意してください。

[皮革バンド]

汚れや水分で色落ちすることがあります。

バンドの耐久性を下げることにもなります。

また、袖口を汚す原因となります。

乾いた柔らかい布で、汚れや水分を取り除いてください。

こすると色落ちすることがありますので注意してください。

強い光、紫外線をあてると、変色の原因となります。

[軟質プラスチックバンド]

ウレタン・ナイロンなどのバンドは、汚れがひどくなりますと皮膚かぶれの原因となる場合があります。

時々石鹸水又は水で洗ってください。

薬品・化粧品などは変質、割れ、ヒビの原因となりますのでご使用にならないでください。

また使用期間によっては、材質が硬くなり、折れたり割れたりする場合がありますので、その際は新しいバンドと交換してください。


注意

- ② ケース及びバンドに水銀（体温計など）・薬品・化粧品などが付着すると変色する場合がありますのでご注意ください。

注意

- ③ バンドは指1本が入る程度の余裕を持たせ、通気性をよくしてご使用ください。

また、皮革バンドは高温多湿になる場所での保管は避けてください。

 注意


- ④ ケースとバンドとの接合部や金属バンドの駒の接合部に使用しているピンが錆びると、バンドが外れたり時計が脱落したり、稀に怪我をすることがありますのでご注意ください。

(2) 回転ベゼルのお手入れ

 注意

回転ベゼル付きの商品はベゼルの下に汚れなどがたまり、機能が損なわれる場合がありますので、柔らかい歯ブラシで汚れを落とし清潔にしておいてください。


(3) 定期点検（有償）のおすすめ

 注意

- ① 機械時計は2～3年に1度、クォーツ時計は3～4年に1度程度の分解掃除をおすすめします。

定期的な分解掃除を行うことで、内部ムーブメントの保油状態の確認、乾燥の防止、機械部品の異常磨耗などを未然に防ぎ、精度を維持することが出来ます。

又、防水性能は部品が経年劣化することにより損なわれますので、分解掃除や電池交換と合わせてパッキンの交換をご依頼ください。

 注意

- ② 定期点検（有償）はご購入店又はウオッチ・ウェアラブル修理センターにお申し付けください。

ご購入店にご依頼される際は「純正部品」とご指定の上、パッキンやばね棒の交換もあわせてご依頼ください。

◆ 保証とサービスについて

※ 保証書は必ずお読みください。

1. 保証について

本製品が保証期間内に取扱説明書にそった正常なご使用状態で、万一故障が生じた場合には、保証書に従い無償で修理・調整いたします。

保証書を添えてご購入店又はウオッチ・ウェアラブル修理センターにご依頼ください。

保証内容は保証書に記載されていますので必ずお読みください。

2. 補修用部品の保有期間について

この時計の補修用部品の保有年数は、生産終了後通常7年間を基準としています。

※ 補修用部品とは、製品（時計）内部の時間機能のための機械体（ムーブメント）の部品です。

ケース・ガラス・文字板・針・バンド・りゅうずなど製品の機能維持と直接関係がない外装部品は含まれておりません。

これらの外装部品は、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

3. 修理可能期間について

原則として、正常なご使用であれば補修用部品の保有期間中の修理は可能です。

ただし、修理可能時期は、ご使用条件・環境で著しく異なり、時計の状態によっては初期精度の復元が困難な場合がありますので、修理ご依頼の際には、現品持参の上、ご購入店とよくご相談ください。

4. ご転居・ご贈答品の場合について

ご転居・ご贈答品などで、ご購入店が遠隔地となり、保証サービスが受けられない場合には、お客様相談室にご相談ください。

5. 商品に関するお問い合わせについて

商品に関するお問い合わせは、お客様相談室へお問い合わせください。

6. その他のお問い合わせについて

その他の保証とサービスについてご不明の点がありましたら、お客様相談室へお問い合わせください。

< 電話でのお問合せ先 >

● お客様相談室

TEL : (042) 847-3380 営業時間 09:30~17:00
月曜日~金曜日 (祝日、弊社指定の休日は除く)

< 修理品の送り先 >

● ウォッチ・ウェアラブル修理センター

〒191-8501 東京都日野市日野421-8 セイコーエプソン(株)
TEL : (042) 847-3378 営業時間 09:30~17:00
月曜日~金曜日 (祝日、弊社指定の休日は除く)

< 持込修理 >

修理センターへのお持込による修理受付は承っておりません。

修理のご相談はお買い上げの販売店、若しくはお客様相談室へご相談ください。

< ホームページによる最新情報のご確認 >

<https://ssl.orient-watch.jp/>

< 保証履行者 >

販売元： **エプソン販売株式会社**

本社 / 〒160-8801

東京都新宿区新宿四丁目1番6号 JR新宿ミライナタワー

TEL : (03) 5919-5211

< 保証責任者 >

製造元： **セイコーエプソン株式会社**

本社 / 〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

TEL : (0266) 52-3131